

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社百々 )  
 介護事業所名 ( グループホーム百々豊田 )  
 介護保険事業所番号 ( 2393000340 )  
 サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和4年12月21日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和4年12月21日	18台

(1)見守り機器の使用状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・18室すべてに眠りセンサーを設置。</li> <li>・24時間365日、センサー情報を送受信。</li> <li>・デスクトップPCモニターにて睡眠の状況をリアルタイムで観測および記録を実施。</li> <li>・デスクトップPCモニターは介護職員がいつでも目視できるフロア横に設置。</li> </ul>
(2)通信環境整備の効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・覚醒状況が把握できることで、予見的な事故防止対応が可能になる。⇒概ね達成できた。</li> <li>・覚醒状況が把握できることで、朝の起床時に個々に応じたフロア誘導が可能になる。⇒概ね達成できた。</li> <li>・入居者様の健康状態を把握するうえで、貴重なデータを収集することが可能になる。⇒概ね達成できた。</li> </ul>

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和4年12月21日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年2月16日
ICT機器の製品名	iPhone iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和4年2月16日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン (すぐろくTablet)

④ 従前の介護職員等の人員体制

(日勤帯) 1ユニット3名体制  
(夜勤帯) 1ユニット1名体制

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

(日勤帯) 1ユニット3名体制 (増減なし)  
(夜勤帯) 1ユニット1名体制 (増減なし)

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

(日勤帯) 1ユニット3名体制 (増減なし)  
(夜勤帯) 1ユニット1名体制 (増減なし)

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

従前の人員体制に変更はないが、業務効率化を促進し「働きがいのある職場づくり」を実現していく。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

負担軽減が実現することで、残業時間の削減やレクリエーション・傾聴等、入居者様とのコミュニケーション時間の拡充が期待できる。認知症高齢者に対するチームケアの質の向上へと繋げていく。また、入居者様の健康状態を管理し、安全・安心な生活を確保していく。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・ 職場環境整備による安定した介護人材確保
- ・ 業務負担軽減によるチームケアの質の向上

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人財団愛泉会 )  
 介護事業所名 ( 老人保健施設愛泉館 )  
 介護保険事業所番号 ( 2354980001 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年3月7日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン (パラマウントベッド社製)

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月7日	

(1) 見守り機器の使用状況
<p>入所ベッド48床に眠りスキャンを設置し、利用者の夜間の睡眠状態の把握に利用。                  ナースコールが使用できない利用者の、ベッドからの立ち上がりや、移乗時の転倒予防に使用している。                  収集されたデータを蓄積し、介護の質の向上に活用している。</p>
(2) 通信環境整備の効果
<p>離れた場所から利用者の状態をリアルタイムで確認することができる。                  利用者の状態をデータとして蓄積することができる。                  利用者の転倒者、予期せぬ行動を検知したとき迅速に介護従事者がアプローチすることができる。</p>

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月7日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン (パラマウントベッド社製)

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月7日
ICT機器の製品名	(新規) スマートフォン 富士通ARROWS BZ02 (現行) インカム 無線機 ICOM IC-4110

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和3年1月31日
介護記録ソフトの製品名	株式会社レゾナ i-MEDIC

④ 従前の介護職員等の人員体制	20.5
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	19.5
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	19.5
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーから得られた情報をスマートフォンで確認し、インカムを使用し介護従事者間で情報を共有を行う。  
見守りセンサーの利用者情報を蓄積し介護の質の向上に活用できている。  
介護従事者の業務の効率化を図ることができる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者の状態をリアルタイムでパソコン、スマートフォンで確認することが可能なため、居室への訪問回数を減らしながらも、利用者の転倒、予期せぬ行動を迅速に把握し対応することができる。  
介護従事者の負担軽減と共に、利用者のプライバシーを守ることが可能となる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

通信環境の整備、見守りセンサーの導入によって、夜勤休憩の質の向上や訪室回数の減少、重大事故の軽減効果や、スタッフの身体的・精神的負担が軽減により離職数も減少が期待できる。また見守りセンサーの効果として、利用者の睡眠状態を把握・分析することで、個人に合った眠りを誘導することが期待できる。

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人瀬戸中央会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホームつばき )  
 介護保険事業所番号 ( 2372302568 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	平成30年11月9日
	②介護ロボットの製品名	aams介護(既設)

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年3月14日	2台 (令和5年1月24日購入)

## (1)見守り機器の使用状況

かねて見守り機器 (aams介護) を2台有しており、もっぱら看取り期や体調不良時の入居者様のケアに使用していたが、今回、通信環境整備とあわせて、モニターとしてのタブレット2台を新しく導入したことで、以前にも増して切れ目のない見守りが可能になった。

## (2)通信環境整備の効果

通信環境整備により、ユニット全体での見守り機器の活用が可能となった。特に看取りの入居者様の異常なバイタルデータを検知すると、見守り機器がアラームで警告してくれるため、職員の肉体的・精神的負担を軽減するのにとても役立っている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

## ①見守りセンサーについて

導入年月日	平成30年11月9日
見守りセンサーの製品名	aams介護

## ②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年1月24日
ICT機器の製品名	iPad (第9世代) 64GB

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成29年4月1日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン介護老人福祉施設管理システムSP
④ 従前の介護職員等の人員体制	全ユニットの平均でおよそ5.25人の介護職員配置
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	全ユニットの平均でおよそ5.0人の介護職員配置
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	全ユニットの平均でおよそ5.76人の介護職員配置
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	4月から6月にかけて数名の職員の退職、入職があったことが原因として挙げられる。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

従前の見守り機器（aams介護）を利用した取り組みでは、wifi環境が脆弱であることによる通信の遅延や中断が起こる等の難点があった。しかし今回、通信環境整備の導入を支援していただき、デジタルデータを館内のどこでもシームレスにやり取りすることが可能となった。  
 今までは見守り機器はあっても、そのデータを閲覧するために、離れたパソコンまで行く必要があり、業務的には非効率な面があった。しかし、現在では見守りセンサー、モニターとしてのタブレット、介護記録ソフトを備えたことで、職員が無駄なく情報を共有することに役立っている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

当施設では、もっぱら看取り期や、重篤な状態にある入居者様に特化して見守り機器を使用しており、したがって平常時以上に、絶え間なく容体観察を行うことが求められる。  
 こうした状況の下、今回、通信環境を整備したことで職員は絶えず目が離せない状況の中でも、手元のパッドをモニターとしてバイタルデータを把握することができ、過度にストレスを感じることなく、業務に向き合うことができている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

計画時に企図した目的については、問題なく実施できている。効率的な体制を調えることで、今よりも少ない人員での安定的な人員配置が可能となるには、まだ時間を要するが、ICTやDXは今後否応なく重要度が増していくことは明らかなので、陰に陽に業務の効率化に繋がっていくものと期待している。

## 別添1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 十和の会 )  
介護事業所名 ( にじいろあすなろ )  
介護保険事業所番号 ( 2397500071 )  
サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	見守り・コミュニケーション
	②介護ロボットの製品名	見守りライフ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年1月11日	2023/1/11

(1)見守り機器の使用状況
ベッドからの転倒・転落リスクが高い方を中心に入居者さまを選定し、各居室に配置。 入居者さまの状況に合わせてセンサーを稼働させ、見守りを開始した。
(2)通信環境整備の効果
介護ロボットのデーター通信に問題なく稼働出来ている。その為、介護従事者がリアルタイムに状況を把握できている。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/1/25
見守りセンサーの製品名	見守りライフ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2022/2/1
ICT機器の製品名	アップルWi-Fi 32G 10.2インチ iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2022/2/1
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンIDCシステム一式

④ 従前の介護職員等の人員体制

日勤帯6名、夜勤帯2名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

日勤帯5名、夜勤帯2名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

日勤帯5名、夜勤帯2名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・日々状況が変化する入居者さまの情報をタブレット端末で確認できることから、最新の情報が職員間で共有でき、仕事を効率的に進めることが出来る。  
 ・見守り機器にてタブレット端末等で複数人のリアルタイムな状態を表示できることから、入居者様の生活状態が把握、必要時の訪室と夜間帯の巡視タイミングを感知できる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・見守り機器にてタブレット端末で複数人のリアルタイムな状態を把握できることにより、不必要な訪室を軽減できるため、入居者様と個別に関わる時間を増やせ、コミュニケーションを取ることで、ケアと生活の質を向上する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

・見守り機器により転倒転落を防止、察知できることから、見守りに関する負担が軽減され、介護職員が安心して業務等に従事することができ、身体的、精神的負担の軽減を図る。また、業務軽減により、介護職員の離職を防止する。

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人知多学園 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム論地がるてん )  
 介護保険事業所番号 ( 2394600031 )  
 サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年2月24日
	②介護ロボットの製品名	見守りライフ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年1月15日	wifi用LAN工事 アクセスポイント増設

(1)見守り機器の使用状況
10人の利用者様に対し見守りライフを設置し運用を開始。 1名の方が体動が離床するおそれなくなりセンサーを撤去したため現在9名の利用者に設置をしている。 特に職員が少なくなる夜間帯に活用。ベッド上での体動の確認をステーションのPCにて行っている。
(2)通信環境整備の効果
施設内全ての場所で無線通信が可能となった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月24日
見守りセンサーの製品名	見守りライフ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2022/2/14
ICT機器の製品名	iPAD mini

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2022/2/14
介護記録ソフトの製品名	ケアカルテ

④ 従前の介護職員等の人員体制 常勤介護職員13名、非常勤介護職員7名、常勤換算17.6名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 常勤介護職員12名、非常勤介護職員5名、常勤換算14.7名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 常勤介護職員13名、非常勤介護職員7名、常勤換算17.0名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由 人事異動による

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー：見守りライフによりナースコール＝訪室でなく、ナースコール＝端末・PCで状況確認し必要に応じて訪室、の対応となり、動線の効率化を図っている。  
 ICT：iPADにて情報の確認を行い、業務の効率化を図っている。  
 介護ソフト：記録の共有が素早く行えるため、人から人へ伝える時間の省力化をしている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

ケアの質の点では、人員・業務の効率化・省力化により、利用者へか関わる時間を増やせるようにしている。導入し数か月のため評価が難しいが、定期的に職員会議で介護ロボット導入による効果を確認していく。機器エラーにより、精神的不安がでていくがあくまで職員のサポートのためのロボットであるという認識を持つ必要がある。機器トラブルへの早期対応をしている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

特に職員の少ない夜間帯は職員の身体的負担・精神的負担が大きい。それらをサポートする形で適切に介護ロボットを使用していくことで負担軽減につながる。負担軽減により、職員の離職を防ぎ安定した施設運営につながっていくと考える。

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 鳳寿会 )  
介護事業所名 ( 寺別養護老人ホームくるみ荘 )  
介護保険事業所番号 ( 2376400046 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和 5年 1月 30日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和 5年 1月 12日	

(1) 見守り機器の使用状況
<ul style="list-style-type: none"><li>○「眠りSCAN」による利用者様の睡眠状況に合わせ、見守り業務、排泄のケアの軽減。</li><li>○「眠りSCAN」による画像としてデータ蓄積されており、転倒等の状況確認にも利用。</li></ul>
(2) 通信環境整備の効果
<ul style="list-style-type: none"><li>○「眠りSCAN」による利用者様の睡眠状況に合わせ、見守り業務、排泄のケアの軽減が出来ている。 (巡視回数10回→5回)</li><li>○「眠りSCAN」による居室内での転倒事故件数削減。(20%削減)</li><li>○電波が途切れず使えている。</li></ul>

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（ 社会福祉法人 高坂福祉会 ）  
介護事業所名（ 特別養護老人ホーム 高坂苑 ）  
介護保険事業所番号（ 2371600137 ）  
サービス種別（ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023/2/1
	②介護ロボットの製品名	パラマウントベッド株式会社 眠りSCAN NN-1520

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023/1/25	眠りSCAN 通信環境工事 KX-Z2011

## (1)見守り機器の使用状況

入院者を除く全入所者に使用しており、マスター管理は事務所で行い、通常のモニター監視は各フロアにおいて常時行っている。

## (2)通信環境整備の効果

通信環境を再構築したおかげで、全居室に導入した眠りSCAN（見守り機器）がくまなくモニターでき、入所者の安全の確保と職員の身体的と精神的の負担軽減に繋がった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/2/1
見守りセンサーの製品名	パラマウントベッド株式会社 眠りSCAN NN-1520

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2021/10/28
ICT機器の製品名	無線LANインカム IP100H (アイコム株式会社)

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2019/10/1
介護記録ソフトの製品名	介護記録ソフト SmileOne (株式会社プラスワン)

④ 従前の介護職員等の人員体制 人員配置が常勤換算2.57:1、夜勤者の最長仮眠時間1時間

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 人員配置が常勤換算2.66:1、夜勤者の最長仮眠時間2時間

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 人員配置が常勤換算2.66:1、夜勤者の最長仮眠時間2時間

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーにより可視化された身体状態を分析することで、①スタッフによるバイタル測定をより限定化し、不必要な安否確認の削減。②介護記録ソフトとの連携で睡眠時記録の電子化による、記録業務に係る時間の短縮。③インカム活用によるスタッフ間でのシームレスな情報共有で巡視業務の効率化と個別ケアの充実。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

★ご利用者様のケアの質の向上のために、①定時の訪室を廃止する。②スタッフがタイムリーな対応。③医療職等と睡眠時データを共有し、異常の早期対応に努める。④ご家族様とも情報共有し、事故やトラブルの防止と努める。  
 ★スタッフの休憩時間の確保と負担軽減等のために、①定時の巡視範囲を共用部のみに限定。②睡眠時記録を自動転記とし、記録業務を削減。③睡眠リズムを把握し、夜間の無駄な排泄ケアを失くす。④睡眠時データを職員間で情報共有し、ケアに活用する。⑤睡眠時データを分析し、医療機関への受診の目安を個別に作成する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

スタッフの身体的及び精神的ストレスが軽減でき、離職率が下がる。

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人 桂名会 )  
 介護事業所名 ( 名東老人保健施設 )  
 介護保険事業所番号 ( 2351580002 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023年2月14日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023年2月14日	眠りSCAN (wifi環境整備) 1 眠りSCAN (介護ソフトワイズマン連携オプション) 1

(1) 見守り機器の使用状況

眠りSCAN40台を利用者のベッドに眠りSCANを設置。利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムに確認することにより、不要な訪室を避けるようにしている。  
 眠りSCANの通知機能を活用し、職員が使用しているインカムに情報が入り、タイムリー且つ必要な際にのみ動くことが出来るため、決まった時間にではなく、個別性に合わせて訪室するようにしている。  
 人員数は変更せず、余剰の時間に対応しきれなかった利用者への対応に時間を充てる等の人員体制の効率化を行い介護の質の向上に繋げていく。

(2) 通信環境整備の効果

眠りSCANのモニタリング機能を活用することにより、利用者の状態、呼吸、心拍が把握でき、不要な訪室を減少することができた。またこれまでは提示で行っていた巡視も、一部だけではあるが、定時ではなく必要に応じて行うことができるようになった。余剰の時間を効果的に利用することについては、また十分ではないが、余剰な時間が出来たことで、職員の精神面への負担軽減に繋がることができている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年2月14日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2021年10月1日
ICT機器の製品名	ティービーアイ社 クリアトークカム

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2021年10月1日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンシステムSP ケア記録オプション

④ 従前の介護職員等の人員体制

利用者：看護師/介護職員＝1.9：1

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

変更なし

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

変更なし

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。  
 ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、職員が使用しているインカムに情報が入り、タイマーかつ必要な際にのみ動くことが出来るため、定時ではなく、個別性に合わせて対応することで効率化を目指す。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、タブレットにて利用者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室することで、利用者の睡眠時間を確保する。  
 ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC・タブレット、インカムで、リアルタイムな情報を確認することができるため、休憩時間の確保に繋げる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

・見守りセンサー「眠りSCAN」の機能である睡眠日誌を活用し、利用者ごとに必要なケアを導き出し、個々に合わせた介入を行う。介入結果は再度睡眠日誌で確認し、PDCAサイクルを行っていく。利用者個々の状態の把握に職員間でばらつきがあるため、統一化を目指す。運用に関しては、より効果的に使用することができるように、「眠りSCAN」の全床導入などを検討していく。



別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 特定非営利活動法人かくれんぼ )  
 介護事業所名 ( グループかくれんぼ )  
 介護保険事業所番号 ( 2390300057 )  
 サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年2月24日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン NI-1520 無線接続タイプ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月24日	なし

(1)見守り機器の使用状況
問題なく使用出来ています。
(2)通信環境整備の効果
眠りスキャン等、通信に障害なく快適な環境になっております。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	2023年 2月24日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン NN-1520 無線接続タイプ
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	2023年 2月27日
ICT機器の製品名	AQUOS SH8HWI
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	2023年 2月1日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT 介護保険
④ 従前の介護職員等の人員体制	3対1
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	3対1
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	3対1
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
業務日誌との連携や各連絡事項等がスムーズに行われるようになった。	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
夜間のトイレ誘導に声をかける際、心拍数等カメラで確認し、熟睡している様子ならもう少し間隔を開ける等、時間を有効に使用することが出来るようになった。	
⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること	
ご利用者様をカメラで24時間観察することが出来、日中逆転する事に期待ができる。	

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 あぐりす実の会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム 大地の丘 )  
 介護保険事業所番号 ( 2375701139 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年2月9日
	②介護ロボットの製品名	ネオスケア通信環境整備工事

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月9日	無線アクセスポイント10台

(1)見守り機器の使用状況
「Neos+Care」の導入により、入居者の生活状況の把握がすすみ、介護サービスの向上と、職員の負担軽減が図れる。本事業により、「Neos+Care」機器の無線環境が整備され、安定的な通信ができるようになった。
(2)通信環境整備の効果
「Neos+Care」が、効率的に運用できる環境が整備され、見守り介護の業務がさらに効率化された。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和2年3月
見守りセンサーの製品名	ネオスケア

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和2年3月
ICT機器の製品名	スマートフォン・アイパッド

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成17年10月
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのネクスト

④ 従前の介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)92人
-----------------	---------------------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)90~92人
--	------------------------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	特養大地の丘 職員(パート含む)90~92人
--------------------------	------------------------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
------------------	--

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

Neos+Careは特養に令和元年、令和2年に導入しており、今回は、入居者の重度化を背景とした現場要望による更なる機器の増設である。機器導入による見守りのため居室に行く機会が減った実績もあり、職員の労務的・精神的負担軽減に繋がるとともに、入居者個々の行動パターンの情報が職種間(介護職員・看護師・栄養士・相談員)共有できた。その結果、入居者居室のドアの開閉数が減り、入居者の質の高い睡眠と介護支援を確保することが実現できた。また、介護記録ソフトは導入済みで、タブレット端末等によるデータ入力が進み、法人全体のデータ化、ペーパーレス化が進んだ。LIFEへの報告も円滑に進めることができた。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

入居者の詳細な行動パターンの職種間(介護職員・看護師・栄養士・相談員)情報共有により、食事(趣向と栄養のバランス調整等)、排泄(排泄量・タイミングの把握等)、睡眠(オムツの選定等)など入居者の更なるケアの質向上に向け検討する余裕ができ改善に繋がるとともに、直接介助にかかる職員の身体的・精神的負担の軽減にもつながった。  
これにより、職員の労働時間の短縮、休憩時間の確保をさらに進める。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

無線環境が整備・強化された事により、安定的な通信環境となった。今後、見守りカメラの増設する場合にも、通信環境を心配しなくても導入できる。さらに、見守りカメラの導入を進め介護サービスの質向上に勤めたい。

別添 1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その 1)

法人名 ( 株式会社センチュリークリエイティブ )

介護事業所名 ( 介護付有料老人ホームあみーご倶楽部小牧 )

介護保険事業所番号 ( 237380160 )

サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023/2/24
	②介護ロボットの製品名	aams.介護セット

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023/2/8	

(1)見守り機器の使用状況

補助金決定通知後、全館Wi-Fi工事の実施後に導入。  
全館の通信において安定した使用ができている。

(2)通信環境整備の効果

安定した電波を受信し、問題なくaamsの使用ができている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/2/24
見守りセンサーの製品名	aams.介護セット

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	不明 (導入済み)
ICT機器の製品名	Apple iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2019/10/1
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制	利用者人数30人	日中職員数	13人
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	利用者人数30人	日中職員数	12人
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	利用者人数30人	日中職員数	13人
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入後の経過日数が少なく、まだ効果が出ていない。		

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー導入により、転倒等の事故が起こった場合、即座にスタッフ間の情報共有を図り、記録業務へつなげることができる。  
スムーズな対応により、職員の負担軽減へつなげ、業務効率化を図る。  
職員の業務軽減により、質の高いサービス提供を図る。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者様の体調の変化を即座に察知、スタッフ間の迅速な情報提供により、質の高いサービスを提供することができる。  
早朝、夜間等の人員配置が減少する場合においても、リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、休憩時間の確保等安心して業務に当たれる職場環境の整備の実現を図る。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

夜間、早朝の利用者様の変化が察知することにより、訪問回数が減り、利用者様の安眠が確保されることに合わせて、介護職員の労務負担の軽減が期待できる。  
危険動作の予兆の検知により、転倒事故のリスクを軽減することができる。

## 別添1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 清洞会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホーム レスパート落合 )  
介護保険事業所番号 ( 2370302842 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年2月28日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月28日	25台

## (1) 見守り機器の使用状況

一律に目視による定時巡視を行っていたが、全室十分なWiFi通信環境を整え、離床状況の見える化を図る事により職員の負担軽減を目指している。

## (2) 通信環境整備の効果

WiFi環境整備により、眠りSCANとインカムの運用環境を整えた。  
全職員一斉連絡が容易になり、リアルタイムに状況が伝わるため、スタッフ同士の連携が図れ、利用者の事故の防止にもつながり、質の高いサービスが見込まれるようになった。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月28日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年2月28日
ICT機器の製品名	クリアトークカム

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和4年1月31日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制	2.3 : 1
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	2.8 : 1
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	2.3 : 1
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入後の期間が短い為、期待する効果を目指している最中である。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・緊急時の応援体制が取れる様になるため、加配が不要となる。
- ・職員同士が連携を図れるようになるため、夜間の職員の見守り人員配置の削減が見込まれる。
- ・申し送りに係る人員配置を1割程度削減できる。又、離床に関する対応時間が短縮でき、ケアの質向上に目を向ける事が可能となると共に、効率良くケア、サービス提供が可能となる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・利用者の状態把握により転倒・転落などの事故防止の効果が期待される。又、睡眠状態の把握により、覚醒時の排泄介助やおむつ交換が可能となり、利用者の安眠が確保できる。
- ・眠りSCANが判別する情報や緊急時やナースコールに対し、職員同士が連携し対応でき、ユニットから安心して離れる事が可能となり休憩時間を確保でき、精神的な負担の軽減が見込まれる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

導入後の期間が短い為、期待する効果を目指している最中である。

## 別添1（通信環境整備用）

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（ 社会福祉法人 八起社 ）  
介護事業所名（ 特別養護老人ホーム東和荘 ）  
介護保険事業所番号（ 2375700180 ）  
サービス種別（ 介護老人福祉施設 ）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年3月24日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年3月24日	15台

## (1)見守り機器の使用状況

インカムでは、介護者が各棟で装着し、新しい連絡手段として使用している。今までは広い施設内で人探しをする場合には、時間や労力が必要となるが、どこの際でも作業中であっても、連絡や情報共有することができ、人探し時間の短縮から直接処遇への割り当て等への効果を実感している。

介護者によって、インカムに不快感があり、装着への疑念もあった。そういった効果による払拭や、ポーチ等を利用し、不快感の改善を行っている。今後も積極的な装着や活用に、ソフト・ハードの両面に対応していきたい。

## (2)通信環境整備の効果

従来では人探しや、緊急時の応援要請は全館放送しか方法がなく、一定の場所まで行くため、入所者の手を放す等のデメリットがあった。そういった恐れのある入所者を介助しながら、応援要請ができ、情報共有できるメリットを多くの職員が実感している。また、夜間では別の際に応援要請もでき、心理的ストレスの軽減にもなっている。事務所等からの連絡等でも活用し、ご家族への対応をより円滑にでき安心感を与えている。「眠りSCAN通信環境整備」は施設を全体的にカバーしており、ストレスなく通信環境を維持しており、漏れなく情報を連絡することができる。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月24日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月24日
ICT機器の製品名	インカム ティービーアイ KX-Z837

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成17年8月1日
介護記録ソフトの製品名	東経システム「福祉見聞録」

④ 従前の介護職員等の人員体制

理者1名(常勤) 医師3名(非常勤) 生活相談員2名(常勤) 看護職員5.7名(常勤換算) 介護職員33.1名(常勤換算) 管理栄養士2名(常勤) 機能訓練指導員1名(常勤兼務) 介護支援専門員1名(兼務) 事務員2名(常勤) 調理員6.1名(常勤換算) 運転手兼補助員2名(非常勤) ※特養80名分及び短期16名分

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

上記に同じ

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

上記に同じ

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りSCANは、体調不良者の見守りターミナルケアに活用。インカムは従来型の施設であるため、広い施設内での職員間のコミュニケーション等に活用し、人探し、物探しに使用する時間を短縮、短縮した時間を職員の休憩時間や、入所者のケアに充てる。また、ケア中の人探し、物探しは転倒転落のリスクにも繋がるため、転倒転落予防の効果も期待するもの。介護ソフトである福祉見聞録は介護ケア記録・看護ケア記録を管理し、全職員が何時でも確認出来るように設置してある。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

広い施設内を各職員がコミュニケーション及び情報共有し、ケアに当たるのは困難である。そのためのケア記録を電子化し、情報共有をやるシステム作りは、長期間実施しており、定着している。個別に体調管理できる機器を導入することで、情報共有がより密になる。広い施設内をカバーするために、コミュニケーション機器導入することで、移動時間等を短縮。職員の人探し、物探しに係る時間を削減し、ケアや休憩時間に充てるもの。介護事故防止の検討の中で、ケア中の転倒転落を予防が必須と判断、インカムの活用で協力要請等で未然に防げれば、事後報告等に不随する時間も短縮できる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

広い施設内を各職員がコミュニケーション及び情報共有に活用することには有効。電子化での情報共有は、長期間実施しており、定着している。個別に体調管理できる機器を導入することで、今後情報共有がより密になることを期待している。インカムは広い施設内をカバーするためにの機器として、移動時間等を短縮。職員の人探し、物探しに係る時間を削減し、ケアや休憩時間に充てられることを実感している。ケア中の転倒転落予防にも効果を実感し、インカムの活用で協力要請等で未然に防げている。

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 愛知メディカルサービス株式会社 )  
 介護事業所名 ( ソレイユ千種 )  
 介護保険事業所番号 ( 2370101368 )  
 サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年3月13日
	②介護ロボットの製品名	みまもりベッドセンサーシステム

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年3月13日	8台

(1) 見守り機器の使用状況

みまもりセンサーによる入居者の状況が、ステーション内PCに映し出されるため、訪室しなくても把握が可能になった。また、タブレット端末のモニターでも確認できるため、ステーション以外の離れた場所からも状態把握が可能になった。

(2) 通信環境整備の効果

これまでWi-Fiはステーション周辺でしか使用できなかったため、ステーション内でのインターネット接続のための使用にとどまっていた。通信環境整備により、どの居室でも通信が可能になり、見守りセンサーの設置のみでなく、各居室でのタブレット端末による介護記録ソフトの使用も可能になった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月13日
見守りセンサーの製品名	みまもりベッドセンサーシステム

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月25日
ICT機器の製品名	iPad、NEC LAVIE Tab

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年3月25日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制	各フロア日勤帯は2~4名に加え、機能訓練員、ケアマネージャー、看護師が介護のサポートを行っている。
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	介護職員の業務負担が減る事で、他職種のスタッフが本来の業務に従事できる。
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	介護職員の業務負担が減る事で、他職種のスタッフが本来の業務に従事できるようになってきている。
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

タブレット端末を見守りセンサーの入居者の状況把握をするモニターとして活用することで、離れた場所からも状況把握が可能になり、無駄な訪室回数が減少した。また、介護記録をタブレット端末で入力できるようになり、記録のためにステーションへ移動する時間の節約につながっている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守り方法の詳細設定ができるため、入居者のベッドからの転倒リスクが軽減した
- ・夜勤帯など人員配置が少ない時間帯での無駄な訪室回数が減少した
- ・見守りセンサー使用者の体重測定時間を削減する

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・入居者の、夜間や午睡の動態を把握することで、体交やおむつ交換、訪室のタイミングを図る
- ・人員の少ない夜間帯での転倒転落リスクを下げ、職員のストレスが軽減する
- ・介護記録ソフトの活用により、記録にかかる時間が削減され、残業が減る

## 別添 1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 (特定非営利活動法人るんるん )  
介護事業所名 ( グループホームもうやこ )  
介護保険事業所番号 ( 2392300188 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年1月31日
	②介護ロボットの製品名	眠りscan

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年1月31日	

(1)見守り機器の使用状況
使用開始日～現在まで24時間パソコンでデータ管理しています。
(2)通信環境整備の効果
安定した通信環境により眠りscanのデータをもとに利用者様の理解に繋がっている。

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 杉友商事株式会社 )  
介護事業所名 ( グループホームふれんど )  
介護保険事業所番号 ( 2371600426 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	R5年2月26日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN(NN-1120)

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
R5年2月26日	3

## (1)見守り機器の使用状況

ご利用様が居室で過ごされている様子の確認。  
睡眠時の呼吸数、心拍数が把握できることにより、異常の早期発見に役立っている。  
また、睡眠状況確認にも活用しており、より良い睡眠を提供する為の検討材料になっている。

## (2)通信環境整備の効果

各階の連携の為の通信手段として活用している。

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社マザーズ )  
 介護事業所名 ( グループホーム円頓寺北館 )  
 介護保険事業所番号 ( 2370401446 )  
 サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年1月30日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年1月30日	3台

(1) 見守り機器の使用状況
見守支援システム眠りスキャンを各居室に設置し、WI-FIを通じ事務所に設置PCでリアルタイムに各居室の状況を把握している。
(2) 通信環境整備の効果
夜勤者の訪室回数の軽減、覚醒時の素早いトイレ介助など負担軽減となったと介護者から好評です。睡眠の質や心拍数などをデータで把握でき、データ提示により医師との連携が密になり、医師からも処方にも有効との評価をいただいている。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	令和5年1月30日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	令和5年1月30日
ICT機器の製品名	ipad
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	令和5年3月15日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT
④ 従前の介護職員等の人員体制	平均月間労働時間2200時間
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	平均月間労働時間2100時間
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	平均月間労働時間2100時間
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
見守りセンサーのデータと介護記録をタブレットから入力しほのぼのNEXTに保管することにより、引継ぎ時間の削減と介護記録の共有がスムーズになった。	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
心拍数や呼吸数など睡眠時のデータの蓄積により医師との連携がとりやすくなり、きめ細やかなケアができるようになった。夜間の利用者様の覚醒時の訪室が減ったことにより、職員の休憩が取りやすくなった。	
⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること	
既に4月から職員の年間休日数を13日増やし、年間120日休日を実現した。	

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人豊田会 )  
 介護事業所名 ( 介護老人保健施設  
 ハビリスーツ木 )  
 介護保険事業所番号 ( 2352980003 )  
 サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和4年9月
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN (パラマウントベッド社)

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月17日	-

(1)見守り機器の使用状況
通信環境整備後、見守り機器「眠りSCAN」を入所146床(全ベッド)に導入、使用している。
(2)通信環境整備の効果
無線環境を整えたことで、見守り機器「眠りSCAN」を無線で使用でき、容易な移動が可能となった。ノートパソコンを持ち運び、作業ができるようになった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	令和4年9月22日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN (パラマウントベッド社)
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	令和5年1月23日
ICT機器の製品名	iPhone, iPad (Apple社)
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	令和5年3月3日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン老健システム ケア記録オプション
④ 従前の介護職員等の人員体制	全職種において、施設基準を満たす人員を配置している。管理職がマネジメント業務に専念できていない現状がある。
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	④と同等の人員配置で、施設全体の年休取得率60%以上、残業20%削減を目指す。管理職がマネジメント業務に専念する。
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制は変わらない。
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
従前からの人員体制に変化はないが、業務の効率化ができています。	

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人香徳 )  
 介護事業所名 ( グループホームよつば )  
 介護保険事業所番号 ( 2371501251 )  
 サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023/3/15
	②介護ロボットの製品名	見守りセンサーANSiEL

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023/3/15	無線LAN親機 1台 Wi-Fi中継器 4台

(1) 見守り機器の使用状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・18台導入中、12台使用中。</li> <li>・6台未設置：エアマット使用者およびセンサーを触り、撤去してしまう利用者分のため</li> </ul>
(2) 通信環境整備の効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各居室までWi-Fi電波が届くようになり、居室内テレビで娯楽やオンライン面会が可能になった。</li> <li>・ICT機器を使用し介護記録ソフトを使用しており、Wi-Fi電波が届く範囲が狭く限られた場所でしか使用できなかったが、通信環境を整備したことにより施設内のほとんどの場所で使用することが可能となり、作業効率の改善に繋がった。</li> </ul>

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/3/15
見守りセンサーの製品名	見守りセンサーANSIEL

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023/3/10
ICT機器の製品名	AQUOS wish2

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2021/5/24
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンシステム すぐろくTabret

④ 従前の介護職員等の人員体制	3:01
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	3:01
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	3:01
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・Wi-Fi環境を整え、見守りセンサーをスマートフォンに通知されることで、夜間少ない人員体制でも効率よく見守り業務ができる。
- ・見守りセンサーが介護記録ソフトと連動することで、介護記録への入力作業が減少した。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・入居者様の睡眠状況を把握することで、適切なタイミングで支援を行える。
- ・転倒、転落が減ることで、入居者様の安心・安全を確保できる。
- ・見守りセンサーが介護記録ソフトと連動することで業務の効率化につながる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・入居者様のQOL向上、個別ケアの充実
- ・見守りセンサーの活用により、職員の心的負担の軽減。
- ・転倒、転落等に早急な対応が可能となり、インシデントを減らすことができる。

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 幡豆福祉会 )  
 介護事業所名 ( 別養護老人ホーム レジデンス寺山 )  
 介護保険事業所番号 ( 2393200114 )  
 サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年2月20日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン (NN1520)

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月16日	17台 (令和5年2月20日購入)

(1)見守り機器の使用状況
<p>転倒防止のための離床センサー、眠りスキャンに対して通信環境 (Wi-Fi) を整備しインカムを活用する事となり、これにより職員がすぐ連絡をとりあい、近くの職員が現場にすぐ向かい事故を未然に防ぐことが可能となった。</p> <p>また、インカムで先輩職員に相談し指示を受け適切な対応をすることも可能となった。また、職員間の申し送りもスムーズにできている。(特に看護員と介護員の連携)</p>
(2)通信環境整備の効果
<p>インカム活用もかなり慣れてきた。職員の連携により食堂など入居者が過ごしている場所での職員の不在時間が減少した。</p> <p>また、離床センサー、眠りスキャンへの対応も早くなり転倒前に発見することもできるようになった。</p> <p>職員間の申し送りも、業務を行いながらできるので、効率的な動きができるようになり、職員の負担と不安も減少したと言っている。</p>

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	令和5年2月20日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン (NN-1520)
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	令和5年2月20日
ICT機器の製品名	(株) ティービーアイ インカム (WFDI-TC3)
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	以前より導入済み
介護記録ソフトの製品名	エーケービジネス (株) ケアポケットくん
④ 従前の介護職員等の人員体制	2ユニット (協力ユニット) の介護職員数 常勤7名 (夜勤行う)、嘱託1名 (8時間)、非常勤2~3名
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	2ユニット (協力ユニット) の介護職員数 常勤6名 (夜勤行う)、嘱託1名 (8時間)、非常勤2~3名 ※余った職員を介護リーダーとして自由に各フロアを行き来できる職員配置にしていきたい。
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	2ユニット (協力ユニット) の介護職員数 常勤7名 (夜勤行う)、嘱託1名 (8時間)、非常勤2名
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	まだ、インカムを活用した職員連携が十分に出来ていない為、さらに連携強化してから取り組んでいく。 コロナ感染により介護職員の出勤人数が不安定になる時があり人員体制が定まらなかった。
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離床センサー (眠りスキャン) が鳴った場合、ピッチを持っている職員と近くを通りがかった職員が同じ居室を訪室していたので近くを通りがかった職員が対応とのルールにした。</li> <li>・ 利用者コールに対して、他の介助で手が離せない状況になっていても応援を呼ぶことができず、一度その介助を中途半端な場面でやめ現場に向かっていたので、その場合の応援システムをルールにした。</li> <li>・ 新人職員などが迷ったり、あるいは指示を受けたい時に、わざわざ他の職員に応援を依頼してからその場を離れていた為、インカム活用による相談指示とし職員の動線を短くし無駄な動きはしないようにした。</li> <li>・ 記録入力の時間がとりずらく残業になってしまうので、しっかり応援体制を作り効率的な介護により、介護記録入力時間をとって職員の負担を軽減する等々業務の効率の悪さを改善していく。</li> </ul>	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	

- ・インカムと眠りSCANを活用し、すぐ他職員を呼ぶ事ができることで、2名での介助がやりやすくなるので利用者の転倒防止や安心感と職員の身体的負担を軽減させた。
- ・睡眠サイクルを把握することにより効率的な介護手段を選択し業務負担を軽減する。
- ・職員間のノートによる申し送り事項は手間と時間のロスがでる。今起こった事をすぐさまインカムで報告し他職員（看護員、生活相談員、栄養士も含め）との情報共有を行いその時の適切な利用者へのケアを行う。
- ・上記のように業務を行いながらの情報共有による効率化を図り、会議等の時間短縮、休憩時間の確保を行う。可能であれば、職員の有給休暇取得日数を増やす。
- ・職員間の日頃のコミュニケーションを深め、お互いの意見などをインカムで話し合う事を習慣とし業務の効率化を図り残業をしない職場環境を目指す。
- ・1名介助でやっていたことを、互いに連絡をとりあうことにより2名で対応できないか検討し職員の腰痛予防に努める。
- ・逆に現在2名でやっている、記録業務等の周辺業務を1名で行う

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

利用者の要望に素早く、適切に対応できる。

- ・職員(特に新人)の業務中の不安が先輩職員にその場でインカムを活用し指示を仰ぐことにより軽減できる。
  - ・夜勤中に関しても、いつでも応援を気楽に呼ぶことができる体制を構築し職員の負担と不安を軽減できる。
  - ・1人で業務を行っているのではなく、施設全体が組織として介護を行っている施設にできる。
- このような事から、不安、過度な負担の身体介護による離職予防に効果的である。
- ・なにより、いつでも、どこでも相談、助言ができるシステムは新人職員の不安軽減に大きく貢献する。



## 別添1（通信環境整備用）

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（ 有限会社 あかり ）  
介護事業所名（ グループホームあかり ）  
介護保険事業所番号（ 2392300121 ）  
サービス種別（ 認知症対応型共同生活介護 ）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023年3月29日
	②介護ロボットの製品名	ベッドセンサーシステム タイプC2

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023年3月28日	ipad2台・Inspirn142台

## (1)見守り機器の使用状況

管理者自身のICT機器への苦手意識から一切活用することが出来ていなかったが、現在テクノロジーの力を借りる必要性を痛感し一歩踏み出し活用することになったが、職員の精神的負担軽減に繋がっている。

## (2)通信環境整備の効果

管理者自身のICT機器への苦手意識から一切活用することが出来ていなかったが、現在テクノロジーの力を借りる活用できる体制が整ってきた事で職員の精神的介護負担軽減に繋がってきている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年3月29日
見守りセンサーの製品名	ベッドセンサーシステム タイプC2

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023年1月11日
ICT機器の製品名	ipad・Inspirn14

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2023年3月28日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT (NDソフトウェア)

④ 従前の介護職員等の人員体制

9名のご利用者様に対して1日平均3.3名の職員配置(夜勤含む)

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

9名のご利用者様に対して1日平均3.3名の職員配置(夜勤含む)

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

9名のご利用者様に対して1日平均4.0名の職員配置(夜勤含む)

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

・取り入れ未だ日にちが浅い・  
・採用が未だ進んでいないため。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

管理者自身のICT機器への苦手意識から一切活用することが出来ていない。そのため介護職員を平均4.0名確保を目指し、体制を確保することで負担軽減を図ってきたが、慢性的な人手不足に陥り職員の残業等の対応で補い続けてきた。それでも不足する状態が続くため業務の優先順位による提供サービスの縮小を余儀なくされた対応を行っている。現在テクノロジーの力を借りる必要性を通関するようになった。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

現在は職員一人一人のスキルアップを図るため、管理者自身が講師となり、またさまざまな研修へ職員を派遣し質の向上に努めてきた。  
休憩時間は、お互いが協力する形で休憩時間をとるように心がけてきた。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用することにより業務で必要な介護記録、見守りセンサーにより介護負担軽減等が図れるようになる事。

⑧休憩時間を、お互いが協力する形できちんと取れるようにすること。

## 別添1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社 ライフタップ )  
介護事業所名 ( くるみの木稲沢 )  
介護保険事業所番号 ( 2373902226 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年2月7日
	②介護ロボットの製品名	aams.介護セット

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年1月19日	Wi-Fiアクセスポイントの追加

## (1)見守り機器の使用状況

全入居者様、全時間帯にて稼働。  
入居者様毎に体動、離床の時間を設定する。

## (2)通信環境整備の効果

Wi-Fiのアクセスポイントの追加により、通信環境が改善し施設内全域に届くようになった。  
そのため、aamsの運用において通信エラーが出ることなく見守り可能となった。  
ご家族様とのオンライン面談等において居室内から行うことが出来るようになった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月7日
見守りセンサーの製品名	aams. 介護セット

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年2月7日
ICT機器の製品名	Apple iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年2月7日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンすぐろくTablet

④ 従前の介護職員等の人員体制	利用者人数:35人	日中職員数:13人
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	利用者人数:35人	日中職員数:12人
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	利用者人数:35人	日中職員数:13人
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入後間もないため	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサー、介護記録ソフトの連携により、日中夜間の生活リズム（呼吸、心拍、睡眠のリズム等）を視覚的に把握するだけでなく、記録化することもでき、職員間の情報共有や負担軽減、ご家族様への情報提供などがスムーズに行えるようになる。異常を検知した際のアラートにより、より素早く対応することができるようになる。タブレット端末による記録入力の簡素化により、職員の業務軽減、質の高いサービス提供を図る。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

入居者様の体調の変化を即座に察知することができ、職員間の迅速な情報共有により、質の高いサービスを提供することができる。リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、休憩時間の確保等安心して業務に当たれる職場環境の整備の実現を図る。記録入力の簡素化により、業務の効率化、負担軽減を図る

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

タブレット入力は導入後間もなく、扱いに慣れていない状況ではあるが、記録入力の簡素化は行えている。夜間職員の精神的、身体的負担は軽減できている。

## 別添1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人あやめ会 )  
介護事業所名 ( グループホームかえで )  
介護保険事業所番号 ( 2395700111 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023年2月1日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2, 023年1月10日	5台

(1)見守り機器の使用状況
24時間稼働しており特に夜間帯の人員が少ない時間帯に活用しています。
(2)通信環境整備の効果
特に不具合なく稼働しております。回線等が途切れることもありません。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況  
 ※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月1日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和2年4月1日
ICT機器の製品名	すぐろくタブレット

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成23年11月1日
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制	利用者様3人に対し職員1人
-----------------	---------------

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	利用者様3人に対し職員1人
--	---------------

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	利用者様3人に対し職員1人
--------------------------	---------------

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
------------------	--

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

データとロボットが連動しており睡眠状態を把握し、ケアに反映することができる。夜間多動により訪室回数の多い利用者様の負担が減っている。そのため訪室時の物音で起こしてしまうリスクが減っている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

職員室にモニターを設置し全部のロボットの稼働状況が把握できるようになり負担が減っている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

データの活用や職場環境の改善。

別添1（通信環境整備用）

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（ D&M株式会社 ）  
 介護事業所名（ ソレイユビラ大門 ）  
 介護保険事業所番号（ 2372103727 ）  
 サービス種別（ 特定施設入居者生活介護 ）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023年2月21日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023年2月21日	

(1) 見守り機器の使用状況

「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担が軽減されている。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上につながっている。

(2) 通信環境整備の効果

- ・利用者提供サービスの向上。
- ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年2月21日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023年1月31日
ICT機器の製品名	iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2023年1月31日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT、CarePalette(NDソフトウェア㈱)

④ 従前の介護職員等の人員体制	2.3:1
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	2.7:1
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	2.7:1
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認する事で、不要な訪室を減らすことができています。  
 ・「眠りSCAN」の通知機能、ICT機器を活用し、タイムリー且つ必要な際にのみ職員が対応に動くことができるため、従来の巡視方法を見直すことにより、見回り業務を減らすことができています。  
 ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットで介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつながっている。  
 ※入居者様の状況に合わせて巡視を行っている。  
全副の時間に従来の勤務時間差に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化が図れている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことで、利用者の睡眠時間を確保している。  
 ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、iPadにてリアルタイムの各入居者様の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につながっている。  
 ・夜勤者の訪室回数を減らすことができるため、休憩時間の確保につながっている。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

特になし



## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（ 医療法人福友会 ）  
 介護事業所名（ 介護老人保健施設はっ田 ）  
 介護保険事業所番号（ 2350580045 ）  
 サービス種別（ 介護老人保健施設 ）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年3月30日
	②介護ロボットの製品名	眠りScan

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年3月30日	スマートフォン購入台数6台（令和5年3月30日）

## (1)見守り機器の使用状況

全ベッドに眠りSCANを設置しており、リアルタイムモニター（ノートパソコン、スマートフォン）を配置している。職員は、離れた場所や移動しながらでも利用者様の様々な状況（睡眠・覚醒・起き上がり・離床、心拍数、呼吸数）を知ることができている。

## (2)通信環境整備の効果

- ・モニター心電図を装着していない利用者様も心拍数や呼吸数の把握ができ、経過観察を行いやすいため巡視回数を適切に減らすことができた。
- ・睡眠等の日誌を確認することで、今まで点でしか見えなかった利用者様の行動や睡眠等の状況が24時間の線で分かるため、ケアの見直し検討ができた。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/3/30
見守りセンサーの製品名	眠りScan

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2023/3/30
ICT機器の製品名	arrows BZ02

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2023/3/30
介護記録ソフトの製品名	ケア記録オプション

④ 従前の介護職員等の人員体制 看護職員10.3名、介護職員23.3名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 看護職員10.3名、介護職員23.3名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 看護職員11.3名、介護職員23.3名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由 看護職員体制を充実させるため看護職員を増員した。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

●見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入所者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。  
 ●「眠りSCAN」の通知機能を活用し、夜勤者が携帯するスマートフォンに動きのあった入所者様の情報が入り、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

●眠りSCANを使用し、スマートフォンにて入所者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者様の睡眠時間を確保する。 ●スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、スマートフォン端末にて、リアルタイムの各入所者様の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。  
 ●巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」に変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減につなげる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

●睡眠日誌を確認し、眠剤の開始や調整を適切に検討できる。 ●離床センサーが入っていない入所者様の行動も把握でき、適宜巡回することで予期しない転倒事故等を予防することができる。 ●覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、入所者様の睡眠時間を確保でき日中の活動量が増える。

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 医療法人中野会 )  
介護事業所名 ( グループRU・RU・RU )  
介護保険事業所番号 ( 2392400186 )  
サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023年2月14日
	②介護ロボットの製品名	リコーみまもりベットセンサーシステム

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023年2月14日	1台

## (1) 見守り機器の使用状況

入居定員18名の2ユニットで、常時見守りが必要な転倒・転落等のリスクが1番高い入居者に各1台ずつ設置している。

## (2) 通信環境整備の効果

ベットセンサーとパソコンと連動させることができ、状況が把握できる環境となっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年2月14日
見守りセンサーの製品名	リコーみまもりベットセンサーシステム

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	以前に導入済
ICT機器の製品名	iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	以前に導入済
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン

④ 従前の介護職員等の人員体制 15人

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 15人

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 15人

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守り業務に時間や負担がかかっており、常に周囲を気にしている環境下で、入居者とのコミュニケーションにかけられる時間が少ない。そのため、人員体制はそのまま継続を見込んでいる。時間が削減できれば、レクリエーションやコミュニケーションなど他の業務に人員を活用する。また、入居者が料理、洗濯、掃除など活動量を増やせるように働きかけ、業務負担の軽減のみでなく、サービス向上に繋げられるように取り組んでいく。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・ 巡視前に見守り機器のモニター画面を確認することで、入居者の状況を把握し、対応の優先順位づけを行う。
- ・ 見守り機器の導入により、入居者のアラーム発報のタイミングを知ることができ、生活パターンや傾向を理解することができるために、夜間帯で言うならば、入室するタイミングを調整し、眠りの妨げにならないように対応する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

もっと多くの入居者に使用し、入居者の行動分析と予測ができていけば、介護職員の心身の負担軽減や入居者の転倒転落の件数を減らしていけると期待している。

## 別添1（通信環境整備用）

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（株式会社サンメディック東浦）  
介護事業所名（介護付有料老人ホーム敬愛苑藤江）  
介護保険事業所番号（2375701782）  
サービス種別（特定施設入居者生活介護）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和4年12月27日
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和4年12月27日	

## (1)見守り機器の使用状況

ご入居者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（立ち上がり・離床等）を電子カルテやナースコールと連動しているため、アラートで知らせてくれ、また、モニターでの様子観察もできる。その都度アラートの種類によって状況判断をし、職員が対応している。

## (2)通信環境整備の効果

aamsを導入し、介護ソフトと連動させることにより入居者様の状況把握がしやすくなり、重度化した入居者様の情報収集がより細かく出来るようになる。業務の効率化を図りながら、ケアの質を高め、転倒・転落事故を未然に防げるような体制づくりを行っていく。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和 <sup>4</sup> 年12月27日
見守りセンサーの製品名	見守り介護ロボット aams

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年8月1日
ICT機器の製品名	交互通話・中継対応特定小電力トランシーバー

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成26年1月1日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制	入居者2.5人に対して職員1人
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	入居者2.8人に対して職員1人
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	入居者2.8人に対して職員1人
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーの導入やインカム、介護ソフトを活用し職員同士のコミュニケーションの効率を図る。今までは動きの予測は難しかったため巡視の回数を多くとっていたが、aamsの導入により効率的な巡視を行うことができる。またインカムの活用により職員同士のコミュニケーションが円滑になり業務の無駄な動きが少なくなった。これらを活用することで、施設全体の人員配置を最低基準は保ちながらも日中の職員配置を緩和することができる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・職員同士のコミュニケーションの円滑や業務の無駄な動きを見直し、残業時間を1人当たり月に2時間は短縮する。記録作成など業務のタイミングを見直すことで、夜勤時間の見直しや業務時間帯の見直しを図る。  
 ・入居者様のケアの質の向上を目指し、各入居者担当に見守りセンサーを設置後の入居者様の状態を3カ月に1度検討することでケアの質の向上を図る。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

今まで看取りの対応はその都度居室まで訪室しないと状況が確認できなかったが、aamsの導入により電子カルテから心拍の状況が確認できるため、見守りの効率が上がった。それに伴い職員の業務効率も向上し、残業も以前よりは減少してきている。

## 別添1（通信環境整備用）

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（株式会社サンメディック豊田）  
介護事業所名（介護付有料老人ホーム敬愛苑）  
介護保険事業所番号（2373002290）  
サービス種別（特定施設入居者生活介護）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和4年12月27日
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和4年12月27日	

## (1)見守り機器の使用状況

ご入居者様の急な状態変化（呼吸低下・心拍低下等）や行動変化（立ち上がり・離床等）を電子カルテやナースコールと連動しているため、アラートで知らせてくれ、また、モニターでの様子観察もできる。その都度アラートの種類によって状況判断をし、職員が対応している。

## (2)通信環境整備の効果

aamsを導入し、介護ソフトと連動させることにより入居者様の状況把握がしやすくなり、重度化した入居者様の情報収集がより細かく出来るようになる。業務の効率化を図りながら、ケアの質を高め、転倒・転落事故を未然に防げるような体制づくりを行っていく。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和 <del>5</del> <sup>4</sup> 年12月27日
見守りセンサーの製品名	見守り介護ロボット aams

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年8月1日
ICT機器の製品名	交互通話・中継対応特定小電力トランシーバー

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成21年1月1日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT

④ 従前の介護職員等の人員体制

入居者2.5人に対して職員1人

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

入居者2.8人に対して職員1人

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

入居者2.8人に対して職員1人

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーの導入やインカム、介護ソフトを活用し職員同士のコミュニケーションの効率を図る。今までは動きの予測は難しかったため巡視の回数を多くとっていたが、aamsの導入により効率的な巡視を行うことができる。またインカムの活用により職員同士のコミュニケーションが円滑になり業務の無駄な動きが少なくなった。これらを活用することで、施設全体の人員配置を最低基準は保ちながらも日中の職員配置を緩和することができる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・職員同士のコミュニケーションの円滑や業務の無駄な動きを見直し、残業時間を1人当たり月に2時間は短縮する。記録作成など業務のタイミングを見直すことで、夜勤時間の見直しや業務時間帯の見直しを図る。
- ・入居者様のケアの質の向上を目指し、各入居者担当に見守りセンサーを設置後の入居者様の状態を3カ月に1度検討することでケアの質の向上を図る。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

今まで看取りの対応はその都度居室まで訪室しないと状況が確認できなかったが、aamsの導入により電子カルテから心拍の状況が確認できるため、見守りの効率が上がった。それに伴い職員の業務効率も向上し、残業も以前よりは減少してきている。



## 別添1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人淳涌界 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホームおふくろの家 )  
介護保険事業所番号 ( 2377500323 )  
サービス種別 ( 指定介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023/1/31
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

適用を受けた補助率	1/2
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年1月31日	

(1)見守り機器の使用状況
夜間の行動パターンが解りやすくなった。

(2)通信環境整備の効果
眠りの深さが分かる

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（株式会社波の女）

介護事業所名（グループホーム滝子通一丁目）

介護保険事業所番号（2390700124）

サービス種別（認知症対応型共同生活介護）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年3月29日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年3月15日	4

(1)見守り機器の使用状況

稼働中

(2)通信環境整備の効果

グループホーム滝子通一丁目1階・2階各居室の見守りセンサー、カメラのデータをモバイル端末と管理用パソコン上の専用アプリ、介護ソフトに滞りなく送信できている。各フロア設置のモバイル端末、パソコンの電波状況も良好

- 眠りスキャンは安定稼働している。
- 手元のiPhone, iPadで眠りSCANの発報がキャッチできている。
- 手元のiPhone, iPadで既存の介護ソフトが活用できている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月29日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月15日
ICT機器の製品名	iPad / iPhone

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年2月27日
介護記録ソフトの製品名	CARECARTE

④ 従前の介護職員等の人員体制

グループホーム事業所に二つの共同生活住居（定員各9名）を有し、各共同生活住居ごとの介護職員配置は、①日勤者8時間（9時～18時）②遅勤者8時間（11時～20時）③夜勤者（入り）16時～24時④夜勤者（明け）0時～11時となっている。日中時間帯（5時～22時）に総配置時間数28時間、夜勤及び深夜の時間帯（22時～5時）に4時間（休憩3時間）である

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

現状1勤務（8時間）当たり最大90分程度要している記録等に要する時間数を最大50%削減、1勤務平均70分程度要しているところを30分程度（40%弱）削減することで、1日あたり2時間程度（4勤務）の時間を生み出す。グループホームは常勤職員で構成しているので生み出した時間分を削減するのではなく、人員体制は変わらずとも、入居者へ直接関わる時間数を増やすことと記録のために超過勤務しなくても良いようにする。併せて介護計画作成担当者が計画作成に要する時間数の削減を図っていく。  
また、場合によっては生み出した時間数を併設事業（小規模多機能型居宅介護で非常勤職員が就労している）に兼務とさせることで、併設事業も合わせた施設全体で人員削減効果をあげることを可能にする。

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

現状は⑤と大きな変化はない

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

導入が1月予定から3月下旬の導入と遅れたことと、一つのユニットでは端末とセンサーの連動に不具合が起き、さらに導入が遅れた。本格的に稼働して一か月弱であり、記録時間を削減できるほどに端末操作に慣れていない

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

○環境が整備され、眠りSCAN、iPhoneが安定稼働することで介護記録システムCAREKARTEと連携させ、発報データの自動記録化とシステム上の介護記録と一体的にアセスメントできる。より良質な介護サービスが提供できる。  
○手元のiPhoneやiPadでも、発報キャッチから状態確認までできるので、複数が起こっても的確な優先順位をつけて介助することができる。  
○上記により、良質なサービスを提供でき、利用者の安寧な生活、スタッフのさらなる負担軽減が図れることで、夜間は人員基準として現人員を削減できないが、日中の基準を超えたスタッフが削減できる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

○環境が整備され、眠りSCAN、iPhoneが安定稼働することで夜間、不要な定期巡視を回避することができる。利用者に良質の睡眠を提供し、スタッフの軽減が図れる。  
○眠りSCANのデータが介護ソフトに自動連係されるので、記録負担の軽減ができる。  
○眠りSCANは、設定によって他のユニットの状態もモニターできるので、設定を切り換えてモニターをユニット間で協力して見てあげることにより、夜間スタッフが休憩を確実にとることができる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

○これまでの夜勤帯では、「些細な物音でも入居者の離床や行動開始と予測して各居室を確認して回ることが必要」だったが、システム導入後はまず「手元のカメラ画像の確認、眠りスキャンデータの確認をする」ことで行動の有無や睡眠状況を確認できるため「不要な訪室をすることをしなくても良くなった」ことが、負担軽減となっているという感想が出ている。まだ、本格的に稼働して一ヶ月であるため、システムに慣れていない職員もいるが、徐々に負担軽減を実感できる職員が増えていくと予想している

## 別添1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人等生会 )  
介護事業所名 ( 特別養護老人ホームかくれんぼ )  
介護保険事業所番号 ( 2390300289 )  
サービス種別 ( 地域密着型介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年 3月 24日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN NN-1520無線接続タイプ

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年3月20日	2台

## (1)見守り機器の使用状況

令和元年に導入した3台を含め、今回の26台の導入でユニット全居室に眠りスキャンが整備され、ご利用者全員の睡眠状態、入眠パターンの確認、体調を崩されている方の夜間の状態確認をしている。

## (2)通信環境整備の効果

通信環境整備する以前は、部屋によっては眠りスキャンを設置できない部屋もあったが無線環境整備をすることにより全居室に眠りスキャンを設置することができ、職員が移動時にもIPADの使用により入居者様の様子を確認できるようになった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月24日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN NN-1520無線接続タイプ

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年 3月24 日
ICT機器の製品名	IPAD

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和4年9月22日
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXTクラウド

④ 従前の介護職員等の人員体制 29人に対し2人の勤務者

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 利用者2名に対して介護職員が1名の配置を見込んでいた。

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 全体導入から期間が経っていないが平均値としては1.7名に対し介護職員1名の配置となった。

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

導入計画時と比較して入所者の重度化等状況が変わってきており、想定よりも介護職員の配置が多く必要になったため、介護職員の人員体制の減少には繋がらなかったが、夜間に関しては勤務者の労力（巡視回数等の軽減や精神的負担）の減少効果が見られる。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りスキャン（見守りセンサー）とICT機器（IPAD）を活用することで、ベッド上の動作を映像で確認したり、睡眠時の状態の把握が可能になるため、緊急時の的確な判断やターミナルケア時の適切なタイミングでのかかわりや対応ができる。また、夜間帯の定期巡回の無駄を省き介護職員の負担軽減に繋げる。さらに眠りスキャンで入手したデータを介護記録に入力、活用して利用者の生活リズムを把握し、個別ケアの質の向上と生産性向上に取り組みます。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

情報をご家族やケアマネージャー、介護従事者と共有し睡眠導入剤の投薬効果の検証に役立てる。また夜勤者の負担軽減のため居室で過ごすご利用者様の状態を見え化することで、巡回の回数を減らす

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

ユニット全室に眠りスキャンが設置されたことにより、入所者全員の状態が把握でき、職員の物理的及び精神的負担の軽減、労働環境の整備改善により離職率の低下が期待される。

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人 永熊会 )  
 介護事業所名 ( 地域密着型特別介護老人ホーム きらめき )  
 介護保険事業所番号 ( 2391400211 )  
 サービス種別 ( 地域密着型特定施設入居者生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023年3月23日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023年1月20日	

(1)見守り機器の使用状況
見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減している。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上が図れている。
(2)通信環境整備の効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。</li> <li>・利用者のQOLの向上。</li> <li>・職員の精神的・身体的な負担の軽減。</li> </ul>

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023年3月23日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	既に導入済み
ICT機器の製品名	iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	既に導入済み
介護記録ソフトの製品名	ケアコネクトジャパン 「ケアカルテ」

④ 従前の介護職員等の人員体制	30名
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	25名
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	30名
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入直後のため雇用調整は一定期間必要

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。
  - ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、動きのあった入居者様の情報がタブレットへ入り、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。
  - ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。
- ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。  
余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行う。
- ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、タブレット端末、インカムにて、リアルタイムの各入居者様の情報を確認する。
- ・巡視の方法を変更することにより、訪室回数を減らし休憩時間の確保する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・職員の記録業務の低減
- ・職員の休憩時間の確保
- ・安全な見守り
- ・入居者の睡眠の質の向上



## 別添1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会医療法人宏潤会 )  
介護事業所名 ( 大同老人保健施設 )  
介護保険事業所番号 ( 2351280009 )  
サービス種別 ( 介護老人保健施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023年3月29日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023年3月29日	15台

## (1)見守り機器の使用状況

各フロアに設置し24時間見守りに活用しているが特に職員数が少ない夜間に活用している。  
夜間の睡眠状況を把握し、オムツ交換やトイレ誘導など利用者に合わせた対応ができてきている  
今後はさらに使用実績を増やし、使用基準などを決め運用していく

## (2)通信環境整備の効果

WiFi環境を整備し眠りSCANを導入したことで入所者の転倒転落のリスクの軽減が期待できる。また、WiFi環境が整うことで居室内やローカなどで、随時PCやタブレット端末への入力ができ、入所者の傍にいて見守りすることもできている。電子カルテへの入力時間短縮にも繋がり業務の効率化が期待できる

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	2023年3月29日
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	2023年3月29日
ICT機器の製品名	デジタルインカム
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	2019年12月
介護記録ソフトの製品名	寿システム
④ 従前の介護職員等の人員体制	看護職員13名 介護職員26.8名
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	36名
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	38名
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入計画策定時より職員数は減少しているが、現在の入所者の状況を考慮すると38名の職員数の人員配置が必要である
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより不要な訪室を避け、タイムリー且つ必要な場合にのみ職員が対応している。</li> <li>・「定時巡視」から「適宜巡視」へ変えていき、入所者の状況に合わせた巡視を行っている。</li> <li>・眠りSCANのモニターを見ながら介護記録を入力することにより安全な見守りをしている。</li> <li>・インカムを使用し、職員間の連絡をスムーズに行い、入所者への迅速な対応に繋げている。</li> <li>・インカムを使用し、電話連絡による無駄な動きの削減に繋げている。</li> </ul>	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや体位変換・訪室を行うことにより、入所者の睡眠時間を確保する。</li> <li>・スタッフステーション以外の場所からもスマートフォンにてリアルタイムで確認することで入所者の状況を把握し、転倒転落予防に繋げる。</li> <li>・スタッフステーションにいる間もPCにてリアルタイムの各入所者の情報を確認することができるため、空いた時間に電子カルテ入力確保に繋げる。</li> <li>・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」へ変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減に繋げる</li> </ul>	
⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること	

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや体位変換・訪室を行うことにより、入所者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフステーション以外の場所からもスマートフォンにてリアルタイムで確認することで入所者の状況を把握し、転倒転落予防に繋げる
- ・スタッフステーションにいる間もPCにてリアルタイムの各入所者の情報を確認することができるため、空いた時間に電子カルテ入力確保に繋げる。
- ・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」へ変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減に繋げる

## 別添1 (通信環境整備用)

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 株式会社ミッドランド )  
介護事業所名 ( 有料老人ホーム ミッドランド知多 )  
介護保険事業所番号 ( 2375702327 )  
サービス種別 ( 特定施設入居者生活介護 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令5年2月10日
	②介護ロボットの製品名	aams介護セット

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月3日	4台

## (1)見守り機器の使用状況

- ・施設内全居室のベッドにaamsを設置。
- ・すべての入居者様に24時間稼働態勢を整え、入居者様ごとに体動や離床時間の設定。

## (2)通信環境整備の効果

- ・Wi-Fiアクセスポイントを増設(新設)し、施設内全域の通信環境を改善。
- ・通信エラーなど不具合なく、aamsの運用に最適化した。
- ・オンラインでの面談、相談が可能になった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年2月10日
見守りセンサーの製品名	aams介護セット

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年1月12日
ICT機器の製品名	Apple iPad

③介護記録ソフトについて

導入年月日	令和5年1月16日
介護記録ソフトの製品名	IDCケア記録オプションすぐろくタブレット

④ 従前の介護職員等の人員体制 利用者人数：33名 介護職員：13名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 利用者人数：33名 介護職員：12名

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 利用者人数：33名 介護職員：12名

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー、介護記録ソフトの連携により、入居者様の生活リズム（心拍や睡眠等）を把握し、また記録化することにより、スタッフ間での情報共有、家族関係者への情報伝達などをスムーズに行えるようになる。
- ・異常検知のアラートにより、スタッフがよりの確に対応出来るようになる。
- ・タブレット端末への記録入力により、業務削減・質の高いサービス提供を行える。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・入居者様の生活リズムを理解しながらサービスを提供できるので、一段と質の高いサービスが提供できる。
- ・業務削減により、スタッフの精神的・身体的ストレスの軽減、業務削減により休憩時間の確保（特に夜間帯）ができ、職場環境の整備ができる。
- ・タブレット端末への記録入力により、業務の効率化、負担軽減。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・見守りセンサーにより、夜間スタッフの業務削減、精神的な負担削減。
- ・タブレットへの記録入力により、手書き作業と比べると業務は大幅に削減。またグラフ等によりご利用者様の（身体等）変化の状況がすぐわかる。

別添1（通信環境整備用）

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（ 医療法人社団 同仁会 ）  
 介護事業所名（ 介護付有料老人ホームファミリエ ）  
 介護保険事業所番号（ 2372901336 ）  
 サービス種別（ 特定施設入居者生活介護 ）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和4年12月27日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和4年12月21日	PoEスイッチングハブ 3台 無線アクセスポイント 6台

(1)見守り機器の使用状況
眠りSCANは主に看取りの方や身体状況の悪い方に使用し、入居者様の睡眠・バイタル状況の確認、併せて眠りSCAN eyeを転倒リスクのある方に使用、居室内の様子を確認し、状況に合わせた対応をしている。
(2)通信環境整備の効果
Wi-fe環境整備がされ、眠りSCAN・眠りSCAN eye・スマートフォンを導入したことで的確な時間に訪室し、対応できるようになっている。訪室せずに状況確認ができている為、職員の身体的負担も軽減させることもできている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和4年12月27日
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和4年12月27日
ICT機器の製品名	Mouse Pro、スマートフォン

③介護記録ソフトについて

導入年月日	H25.12.1
介護記録ソフトの製品名	ブルーオーシャン

④ 従前の介護職員等の人員体制

入居者様3名に対して職員1名

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

導入したばかりなので、現状は3:1

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制

3:1

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

介護記録、見守りセンターの電子化により情報を一元化する事でスタッフ間での情報の共有化できる事や記録作成時間の短縮に繋がった。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・個別での担当者会議でフィールドし、多様なご利用者に対応したケアの質の向上を図る  
 ・業務内容を見直すことにより効率で適切な役割分担を検討する。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

ケアの質の向上と職員の負担の均一化や残業時間の短縮

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人和敬会 )  
 介護事業所名 ( 特別養護老人ホームなごみの郷 )  
 介護保険事業所番号 ( 2393300070 )  
 サービス種別 ( 地域密着型複合施設なごみの郷 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	令和5年3月1日
	②介護ロボットの製品名	A. I. Viewlife

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月28日	

(1) 見守り機器の使用状況

- ・これまで使用していた離床センサーによる検知回数の多い利用者を中心に、センサーカメラと生体センサーを設置。更に、利用者ごとに通知項目を個別で設定している。
- ・通知の入るスマートフォン又はタブレット端末を、勤務に入るスタッフは常時携帯。
- ・通知の際はすぐに訪室をせず、まずは端末確認を徹底し、訪室の必要性の判断、必要に応じシステムからの声掛けによる見守りを行っている。
- ・通知のない際でも、訪室をしない見守りを実施。
- ・事故が発生した際には、振返りや再発防止策検討のための資料としても動画データを活用。

(2) 通信環境整備の効果

- ・通信状況も安定しており、問題なく使用できている。



(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	令和5年3月1日
見守りセンサーの製品名	A. I. Viewlife

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	令和5年3月1日
ICT機器の製品名	arrows端末

③介護記録ソフトについて

導入年月日	平成29年3月1日
介護記録ソフトの製品名	FT-Care

④ 従前の介護職員等の人員体制	1.5 : 1
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	2 : 1
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	1.5 : 1
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	導入初期のため人員体制の見直しや検討をする段階ではないため。

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・フロアで過ごされる利用者を見守るスタッフが、フロアで見守りや同一ICT機器を使用した記録を行いながら、システム上（センサー検知による見守りも含む）において居室で過ごされている方の見守りも行えるため、各フロアにおいて見守りに必要な人員を効率化することに取組む。
- ・これまで見守りに必要であった人員を、より人手が必要な業務に配置することが可能となるため、必要なところに必要な人材を効率的かつ効果的に最適配置することに取組む。
- ・記録ソフトへの入力も見守りセンサーの検知や見守りも同じスマートフォンとタブレット機器で可能となるため、どこにいても、ICT機器手元にあるスタッフなら誰でもその場で記録にも見守りにも対応することが可能となる。これにより、センサー反応があった際、「ちょっといま手が離せないから、〇〇さん、□□さんのお部屋まで対応して！」ということが減少し、自分でICT機器を確認し、対応する優先順位を判断し行動でき、スタッフ1人の行動にかなりの余裕が生まれる。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・居室に実際に訪室しての巡回回数を削減させることができることで、特に夜間は巡回により睡眠を妨げられるなどがなくなる。
- ・転倒・転落事故のリスクを減少させることができる。
- ・日中については、見守りに必要な人員を効率化することで、効率化された分の人員は余裕をもって休憩を取ることが可能となる。
- ・夜間についても、フロア内の離れた場所に位置する居室内をシステム上で確認できるため、巡回回数の軽減や、余分な訪室を削減でき、身体的な負担を軽減させることができる。また、いつでもどこでも居室内を確認できるため、夜間の精神的な負担も軽減することができる。
- ・巡回回数の軽減で、夜勤スタッフの休憩時間の確保も可能となる。センサー反応によるフロアと居室の無駄な往来（従来はセンサーが反応すると必ず居室へ出向き状況確認していたものを、見守りシステム上でどこにいても可能にさせる。）を減少させる。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

- ・スタッフの時間的な余裕を作り出すことができることを大いに期待している。見守り機器等ICT機器を使用することで、業務の効率化をし、生み出された時間を利用者スタッフの、人と人との関わりの時間に充てることができ、利用者の生きがいや心の充実と、スタッフの働きがい向上の効果を期待している。

## 別添1（通信環境整備用）

## 見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書（その1）

法人名（ 医療法人豊和会 ）  
介護事業所名（ 老人保健施設かずえの郷 ）  
介護保険事業所番号（ 2353080035 ）  
サービス種別（ 介護老人保健施設 ）

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023/2/16
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
令和5年2月14日	

## (1)見守り機器の使用状況

見守りセンサー眠りSCANを入所フロア（2、3、4階）にて使用。認知症症状による不意な起き上がりがみられる入所者や全身状態の悪化リスクが高く、常に体調の変化（睡眠、呼吸、心拍）について留意が必要な利用者へ使用している。

## (2)通信環境整備の効果

通信環境を整備することで見守り機器のスムーズな使用が可能となった。見守りセンサー眠りSCANの導入により、入床後のベッドからのずり落ちや転倒のリスクが軽減している。また、全身状態の確認がリアルタイムに行えることから、利用者の状態の急変に即座に対応できる。前記により看護・介護職員の精神的負担が軽減できると共に、見守り、巡視等に関わる業務時間の短縮により他業務に時間を当てられケアの質の向上にも繋がっている。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて

導入年月日	2023/2/16
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN

②インカム・スマートフォン等のICT機器について

導入年月日	2022/3/28
ICT機器の製品名	IPAD

③介護記録ソフトについて

導入年月日	2022/3/28
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT (NEXTケア総合記録システム)

④ 従前の介護職員等の人員体制 看護・介護職員 昼間25名～30名、夜間7名 勤務

⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制 看護・介護職員の勤務員数は同数であるが見守りに関わる時間を削減し、他ケアに充てることができるようになる。

⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制 看護・介護職員の勤務員数は同数であるが見守りに関わる時間を削減し、他ケアに充てるようになった。

※⑤、⑥が異なる場合は、その理由

⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

3点の活用により、紙媒体から徐々に電子カルテへと移行へ取り組んでいる。それにより紙の削減や職員間のスムーズな連携にも繋がっている。また、状態の重度化した利用者へのケア人員として、従来であると増員を必要としたが、同人数による対応が可能となっている。

⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

記録や見守り、状態確認へ要す時間を利用者への直接的なケアや職員の人材育成に充てることができ、より個別性のある質の高いケアに繋がっていると自負している。また、利用者の急変時の対応等、職員の精神的負担も軽減している。

⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること

介護現場でのICT、介護ロボットの導入により、記録の全面的な電子化へ繋げていきたい。電子化により、消耗品経費の削減や職員の精神面の負担軽減、ケアの質の向上が図れると考える。

別添1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備報告書 (その1)

法人名 ( 社会福祉法人杏園福祉会 )  
介護事業所名 ( ひびのファミリア )  
介護保険事業所番号 ( 2370901593 )  
サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

見守り機器について	①見守り機器の導入日	2023/3/27
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

適用を受けた補助率	3/4
-----------	-----

通信環境整備年月日	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数
2023/2/28	

(1) 見守り機器の使用状況

介護老人福祉施設の入居者100名全員に対して終日、睡眠状況の把握を目的として導入をしている。

(2) 通信環境整備の効果

アクセスポイントの設置により、様々な機器について通信環境が改善され、不通トラブルが発生しなくなった。

(3) 少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組状況

※補助率3/4の適用を受けた場合は、記載すること。

①見守りセンサーについて	
導入年月日	2023/3/27
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN
②インカム・スマートフォン等のICT機器について	
導入年月日	既に導入済み
ICT機器の製品名	ケアパレット
③介護記録ソフトについて	
導入年月日	既に導入済み
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT
④ 従前の介護職員等の人員体制	8時間夜勤・ユニット5名体制
⑤ 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	12時間夜勤・ユニット5名体制
⑥ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	12時間夜勤・ユニット5名体制
※⑤、⑥が異なる場合は、その理由	
⑦ 見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	
ユニットにスタッフ1名となる時間帯において、巡視や排泄介助、他の入居者の介助中の負担と不安が軽減出来ている。	
⑧ 利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	
夜勤スタッフが遅番スタッフと重なる時間を確保する事が出来たため、夜勤スタッフの休憩時間を1時間30分に増加出来ている。	
⑨ ⑦、⑧の取組による改善状況又は、今後改善が期待できること	
同フロアの夜勤スタッフ同士がスマートフォンを共有し、深夜時間帯であっても休憩が出来る環境の構築。遅番勤務の時間帯の見直し。睡眠リズムを根拠とした排泄介助や服薬支援の実現。	